

令和 5 年度

自己評価表

学校法人 愛知理容学園
アリアーレビューティー専門学校

1. 学校の教育目標

- 礼儀正しい人材の育成
- スペシャリストとしての即戦力となる人材の育成
- 就職、各種検定の全員合格

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 国家試験 100%合格の継続
- 競技大会上位入賞
- 接遇マナー習慣づけ
- 清掃・整理整頓

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	2

- 本校の目的は、アリアーレビューティー専門学校学則および学校法人 愛知理容学園寄付行為に「教育基本法に則り学校教育法並びに理容師法、美容師法に基づき、理容師・美容師の養成に関する教育を施すことを目的とする。」と明確に定めている。
- 上記の目的に沿って、教育理念・教育方針（建学の精神）は、次のように明確に定めている。
 1. 私達は社会の一員として広い視野と教養をもって「人間の美を創る」ことにつとめます。
 2. 私達は常に一層高い技術と洗練された感覚をもって文化と公衆衛生の向上につとめます。
 3. 私達は和をもって団結し、真と善をもって人に接し、平素の修養を怠りません。

- 具体的な養成しようとする人物像は、理容科では、
 1. 一生涯理容師として活躍できるよう技術だけでなく強い意思
 2. 如何なる仕事でも工夫して良い仕事にしていく気持ち・考え方
 3. 常に向上心を持つこと
 美容科では、
 1. 多くのお客様に支えられる美容師としての人格形成
 2. 生涯を通じて土台となる基礎技術の習得
 3. 国家資格を全員取得し、サロンの即戦力となる力をつける
 と定めている。
- 毎日朝礼でスローガン「全学一体 一致団結」及び「三者一体 物事を判断するときに、学生・学校・職員の三者にとって良い事かを考える。」を唱和している。
- 理容師・美容師の基礎技術・学びを取得し、さらに自分自身で向上してもらう事を目標としている。

(2) 学校運営

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
目標等に沿った運営方針が策定されているか	3
運営方針に沿った事業計画が制定されているか	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
人事、給与に関する規定等は整備されているのか	3
教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

- 人事評価制度が 2021 度から始まり 3 年が終了。評価結果の個々への説明等がきちんとされているのか等、一度検証する必要がある。またきちんと自己点検・自己評価表の提出期限を年度計画に入れ、評価制度に対する意識を評価者及び被評価者ともに持つようにしたい。
- 日々の教育活動については、月曜日～金曜日まで学校HPにおいてブログ・FBを活用して情報公開をしている。また年 2 回学園新聞を発行し、保護者・地域住民・高等学校等へ配布している。(前年同様) インスタグラムに関しては週 2 回発信。また TikTok を中心に動画配信に力を入れる。

- 通信 21 期生 美容科の学生管理が 2 年間にわたり出欠席を中心にまったくなされていなかった。法人監査でもまったく指摘されることがなく、学校かつ法人としてのコンプライアンスに疑問符が付く。
- 人は経営手腕によるモチベーション変化が大きいので、注意した方がいい。
- 就業規則や学則を学生・学校（教職員・役員）とも守る。教職員の労働意欲や満足度、教職員同士の人間関係や仲間意識が衰退する。このレベルが担保されないと、どんな政策も意味はない。
- 組織の風土や教職員の意識を代えたい。

（３）教育活動

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
職員の能力開発のための研修等が行われているか	2

- （理容科）令和 5 年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像）は、

- ・理容師として、様々なものに興味を持てる好奇心ある技術者
- ・細かい所にも気遣いができる発見力のある技術者
- ・様々な実習を行い、サロンの即戦力となる実践力のある技術者とする。

（振り返って）今年の 2 年生は興味があるのかないのか、さまざまな事柄に気付いているのか、いないのか等分かりづらい世代でした。基本的には、もう少し教員側でカバーしてあげることができたかもしれないが、1 年次の教育の重要性が再認識できたので、1 年次の教育をしっかりとしていきたい。

- （美容科）令和 5 年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像は、

- ・自己と向き合い、他者を認めて高め合う仲間づくり
- ・自らの課題を克服していく強い意思
- ・幅広い技術を学び、時代の変化に対応する発想力を培うとする。

（振り返って）基本的な教育カリキュラムは同じだが、各項目の時間数に変化をつけ、力を入れる分野をわかりやすくした。具体的にはメイクとヘアカラーに特化した時間配分となる。個々の資格取得、スキルアップは公開授業を中心に学んでもらった。学生の個々の希望に沿えたと思う。メイクは時間数を活かして参加したフォトコンテストで入賞もあった。今年度のヘアショーは有観客であり、メイクも含めてレベルアップが見られた。今年はネイルの学びを見直す予定。

- （トータル科）令和 4 年度の教育目標（具体的に養成しようとする人物像）は、

- ・ヘアメイク、ネイル、エステに関するトータルの知識・技術を身に付け海外中心に理美容業界で活躍できる人財
- ・技術力とコミュニケーション力を兼ね備えた人財
- ・「喜ばれる喜び」を持って、自利利他の精神で社会貢献できる人財

（振り返って） 2 期生が令和 6 年 3 月卒業。入学時 6 名でしたが、卒業は 3 名。途中、結婚等で 3 名退学。日本語の授業を教職員で行っていたが、9 月より留学生が日本語学校（セントラルジャパン日本語学校さま）に出向き直接授業を受ける形に変更。より日本語力を身に付けさせることにより、美容科への進学をスムーズにし、外国人美容師への道筋を明確にする。5 年度は毎週月曜日の 4 時間でしたが、6 年度は毎週月曜日・水曜日の計 7 時間分の授業を計画する。3 期生（令和 5 年 4 月入学）の入学者数はコロナ禍の入国制限の影響が大きく残り 4 名に留まる。

- 「学びたいと思える」授業、教えてもらうのが当たり前・やらされてる・仕方なしにやっている感から自分で自分をつくる主体性・積極性を育むことをテーマにしている。

- SMBC コンシューマーファイナンスさまの講習会（令和 6 年 2 月 29 日。1 年生理容科・美容科）。以前はクレジットカード等の信用取引の学習が中心であったが、今回は人気の新 NISA を始め、「投資」の内容に変更。時代に即した内容に変更する。
- 日本年金機構 大曾根年金事務所さまによる年金セミナーを前年に続き実施。アンケート結果からも今後も継続したい。（令和 5 年 7 月 6 日）また名古屋市障害者差別センターさまにお越しいただき、理美容サロンにおける合理的配慮の提供等を学ぶ（主事の方と車いすユーザー職員の方が来校。令和 5 年 5 月 18 日）
- 名古屋市立中学校におけるキャリアサポート事業委託団体からの依頼で、名古屋市立東星中学校の職業講演会に参加。（令和 5 年 6 月 14 日）中学 2 年生に理美容の魅力を伝える。
- 外国人留学生が安心して学べる学校環境を構築することを目的に日本語学校（セントラルジャパン日本語学校さま）の授業を導入。毎週月曜日の 4 時間授業をセントラルさまで実施。令和 6 年度からは学生増に伴い、アリアーレ内で週 2 回行う予定。
- 名古屋美容協議会主催の在宅高齢者訪問 理美容サービス事業講習会がアリアーレで開催（令和 6 年 2 月 19 日）され、在校生も参加。新たに愛知県福祉理美容技能評価認定制度として県知事評価制度になる。在校生にとっては、資格取得の幅が広がる。（令和 4 年度同様、アリアーレが資格試験会場になる。）
- PTA より保護者向けに学校評価アンケートを実施。（令和 6 年 2 月実施）評価の実施とその結果の公表により、適切に説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めたい。卒業生アンケートは令和 6 年 3 月 1 日実施。

（４）学修成果

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- 昼間課程においては理容科が 6 年連続 国家試験「実技」全員合格でしたが、筆記が 5 年ぶりに 1 名不合格。美容科も実技は全員合格も筆記が 2 名不合格。
- 留学生に関しては、在籍管理・出欠管理、授業進行の見直しを引き続き一層努力する。

- 就職支援は転職支援、キャリア形成（公開授業）、能力開発（公開授業）を含めて考えていきたい。学生個人ごとにライフプランも考えたい。
- 資格取得に関しては、在校生だけでなく、一般市民へのリカレント教育（カルチャースクールのような）の一助になるよう、「公開授業」として募集を実施。令和5年以降も続けている。
- 留学生の就職に関しては、特定技能だけでなく技術・人文知識・国際業務での在留者を今後増えていくよう努力する。

（５）学生支援

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

- 高等教育の修学支援新制度の適用範囲が令和6年度からまた広がり、在校生（新2年生）にも適用されるため、早期に準備・周知に取り組んだ。
- 専門学校を卒業した外国人留学生の就職先を拡大する運用方針が公表された。緩和されるための条件は、卒業した専門学校が文部科学省から「職業実践専門課程」の認定を受けている学校であること。履修科目と仕事内容に明確な関連性がなくても就労ビザが取れる可能性があるので注視する。
- 昼休憩（お昼ご飯）時、外出不可でしたが外出許可に変更。本人の気分転換と教職員の業務効率化につなげる。
- 他校に通いながら（アリアーレ昼間生・大学・短大・高校・フラワーさま等提携先専門学校）+アリアーレ通信生に対する通いやすさを実現。授業参加が他校のためできなくても、違うクラス・学年への参加を認める等授業フォロー、欠席フォローを充実させる。

限られた時間数だけでなく、どこのクラスでも受講できる制度で予習・復習が充実。学習と仕事や他の学びの両立、補習等の経済的負担をなくす。高等教育無償化はどこの学校もやっており、差別化にならない。

- 学校が保護者に求めていることや期待していることは生活の指導。学校は集団で活動を行う場であり、家庭でのしつけが集団生活にそぐわない場合も出てくると学校現場も大変苦慮する。そのため生活指導の原点は家庭であると入学前保護者会で前年同様伝える。(時間・お金) 令和 6 年 3 月 7 日実施。

(6) 教育環境

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

- 令和 5 年 10 月入学の通信生から課題提出が郵送からインターネット提出に変更になるのに伴い、学校の通信環境の整備に取り掛かる。2 階は全面 Wi-Fi 環境を整え、電子黒板を用意。プロジェクター仕様のホワイトボードも設置する。
- 外壁工事、玄関前整備を完工。将来の利益につながる設備投資の方向性につながればよいと思う。
- ロンドンを中心とした海外研修を計画したが、コロナ前よりすごく旅費が高騰しており旅行会社の説明後、参加人数が集まらず中止。次年度は実施時期や引率形態、研修内容や行き先も考え直して学生に提案していきたいと思う。

(7) 学生の受け入れ募集

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
学生募集活動は、適切に行われているか	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2
学納金は妥当なものとなっているか	3

- 令和 5 年 4 月、外国人留学生を対象とした新科「トータルプログラム科」の入学者はコロナ禍による入国制限のあおりで 4 名。ただ、入国制限も解除され、また令和 5 年 5 月より 5 類への変更もあり日本語学校では学生が急増。留学生ガイダンスでは、2 月か

ら 12 月の間で 424 名の着席がある。また学校見学も 4 月～2 月で 93 名、トータル科の出願は 69 名で入学者は 40 名（29 名不合格）。総定員の枠を使い、日本語学校のニーズに応える。

- 理容分野は過去 10 年間（平成 24 年と令和 4 年の比較）で愛知県内の昼間課程生徒は 40 名で増減なく、逆に美容は 3,000 名から 4,000 名に 1,000 名増。理容美容で 100 倍の差がある。理容に関しては出願予定者に向けたピンポイントな広報、美容は学校名認知に向けた広報と理容と美容でやり方を変える必要を感じる。
- 隣の理容組合を意識した学校役員が多いが、組合を意識するなら中部美容専門学校が行っている美容組合修学支援助成金制度のようなものを用意し、理容を目指す生徒のサポートを考えてほしい。
- 留学生に関してはネパールが多い。（令和 6 年 4 月入学者 40 名中 32 名がネパール）現地ネパールでは学生のうち約 7 割は「留学」ではなく、「特定技能」ビザの取得を希望しているとの声があるが、その割には日本語学校もネパール国籍ばかりで、どこかでズレが生じている。専門学校在学中に特定技能での就労が見つかりと専門学校をやめる傾向は当校でも感じており合致する。
- 令和 5 年度 4 月入学生（4 年度募集）は理美 W ライセンス希望者が多かった。この路線で行くのか、こちらに頼らないで行くのかどうなのか。4 年大学でもない、2 年の専門学校でもない、高校生の時から始める 3 年間の専門学校等ほかに負けないインパクトが必要なのではないか。
- SNS は学校の魅力を訴える大切なツールであり、フェイスブック及びインスタに関しては投稿に対して広告を打っている。（1 投稿あたり約 5 日間 4,000 円）フェイスブックに関しては愛知県内の理美容学校でもっとも多いフォロワー数に達する。
- 広告に頼った募集に疑問を感じる。（広告より教育）教育の延長線に広報・募集があると理解すべき。教育の質こそ、学校ブランドの要であり、選ばれる学校の教育の質とは何かを考える必要がある。厳しい学生募集環境の中で専門学校の教育力が問われている。（前年同様）ただ、質の良い教育をしても、知ってもらわなければ宝の持ち腐れで、そのためには広告媒体も必要。募集の責任を広報担当者に押しつけたり、学費等の金額を下げたりするのは簡単だが、根本的な解決にまったくならない。
- 9 月より広報学生委嘱制度をスタート。学生目線をより重視した広報活動を展開できるようにしたが、まだ道半ばの感もたくさん感じる。
- 現場ががんばっても、なぜ入学者が増えないのか。教員や職員のモチベーションが上がっているとは思えない。
- 持続可能な選ばれる学校をするには、経営者、教職員の連携強化が必要。

（8）財務

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適切に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

- 財務は安定しているが、長期計画書・中期計画書をきちんと作成し、一般寄付金（特に建物）の説明ができるようにするべき。
- 日本私立学校共済等の補助金を利用することを今後の目標にしたい。

（９）法令等の厳守

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
自己評価結果を公開しているか	4

- 11 月、愛知県医療局生活衛生部生活衛生課の養成施設指導調査があり、同時授業等の校内整備についての指導を受ける。ほか昼間課程から通信課程への編入所等のアドバイス、教員変更届の整備をしっかりと行う。
- 以前、入国管理局への未報告で指導勧告を受けたが、今期も学内ではあるが学生の出欠席確認が約 2 年間も放置され、指導・監督の機会が大きく損なわれた。上司の確認もおろそかで、かつ監査役も何を監査すればいいのかを理解しておらず二重に欠落。何を監査するのか、されるのか経営陣の理解度が問題。
- 今一度振り返りをする事の大切さ、複数の目でチェック、思い込み先入観や固定概念をなくすことが必要。

（１０）社会貢献・地域貢献

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3

地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3
---	---

- 年2回（6月・11月）、栄献血ルームへ出かけ学生・教職員による献血協力を実施する。また、近隣住民の皆さまや、また遠方からも着物の寄贈を受けることができました。3年ぶりに開催された今池まつりに参加し、地域交流を深める。
- 大学・専門学校における社会人受入れの推進に関する制度が充実する中で、地域住民の皆さんに学習機会を提供する「公開講座」を開設。通信生を含めた在校生はもちろん、一般市民の方からも受講申し込みがあり、今後も理美容に限らず、バラエティーに富んだ講座の開設に努めていく。（前年同様）
- 昨年度に続き、一般社団法人 愛知県福祉理美容技能 評価認定協会さまに県知事認定の試験会場（R6年2月19日）としてご利用いただく。受験者の方のアリアーレ認知度を高める。
- 社会に貢献し、人々に喜んでもらえるかどうか問題で利益はそのあと。学校がやるべきことは何なのか。もう一度考える。ここの社会貢献こそ経営理念ではないのか。

（11）国際交流

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

- 東海地区の日本語学校及び留学生が在籍する専門学校に、毎年美容業界の外国人採用の情報を交えながらパンフレットを郵送している。当校でも専門技術だけでなく日本語のフォローをしているが、もっと資格（日本語能力試験）に合わせた対応を検討している。
- 令和5年度 出入国管理局審査部門による教育機関の選定結果が「適正校（クラスⅡ）」であった。専修学校における入学希望者の日本語能力の判定にあたっては、日本語教育機関において、6か月以上教育を受けていれば基準を満たすが、日本語能力試験 N2 相当以上の日本語能力を当校において目指し、在留審査において本来活動を行う能力に近づけていく。

以上